

第19回日本スカウトジャンボリープレ大会

基本実施要領



「もりあげよう19NSJ～広島から全国へ～」

広島県神石郡神石高原

北緯 34 度 74 分 41 秒 ・ 東経 133 度 31 分 87 秒 海拔 平均 700 ㍎

「神石高原ティアガルテン」

2025年8月8日(金) ～ 11日(月・祝)

日本ボーイスカウト広島県連盟

目 次

第 1 章	開催の趣旨	1
第 2 章	名 称	1
第 3 章	テ ー マ	1
第 4 章	会 期	2
第 5 章	会場の地理的条件	3
第 6 章	参 加 者	4
第 7 章	加盟員の参加	5～ 6
第 8 章	参加に要する経費	7
第 9 章	参加の申し込み	8
第 10 章	活動と日程	9～10
第 11 章	会場利用計画と参加者の生活	11～12
第 12 章	輸 送	13
第 13 章	入場・退場	14
第 14 章	安全管理と救護衛生	15～16
第 15 章	大会の中止について	16
第 16 章	大会組織と運営	17～19
	第 19 回日本スカウトジャンボリープレ大会に関する留意事項	20



第1章 開催の趣旨

1. 第19回日本スカウトジャンボリープレ大会開催にあたって

第19回日本スカウトジャンボリープレ大会（以下「19NSJプレ大会」という。）は、2026年8月に開催される「第19回日本スカウトジャンボリー（以下「19NSJ」という。）」へ向けて、中国・四国ブロックの各県連盟のスカウト・指導者が一堂に会し、スカウト・指導者同士のつながりを深めるとともに、本大会会場での事前の野営生活を通して、その特徴（気候や設備等）を全国に情報発信できる機会と捉えている。

2. 大会の目的

19NSJが2026年8月に広島県神石郡神石高原町で開催されることとなった。そこで、前年度に次のことを目的に19NSJプレ大会を開催する。

（1）19NSJ大会会場状況の周知

神石高原ティアガルテン周辺の天候・地形・設備等を実際に事前体験することにより、その状況把握をするとともに、全国の仲間に情報を発信する。

（2）19NSJ大会開催のアピール

19NSJが広島県神石郡神石高原町で開催されることをスカウトのみならず、行政機関及び地元に応じる。

（3）機運の醸成

19NSJ開催県として、県内スカウト及び中国・四国ブロック関係者等の機運を高める。

第2章 名 称

第19回日本スカウトジャンボリープレ大会

（略称 19NSJプレ大会）

第3章 テ ー マ

「もりあげよう19NSJ～広島から全国へ～」

第4章 会 期

会期は、令和7年（2025年）8月8日（金）～11日（月・祝）とする。

19NSJプレ大会の参加者は、8月8日（金）に入場し、8月11日（月・祝）に退場する。
（3泊4日間のキャンプ生活を行う。）

〈日程表〉

日数	日程	主な行事	午 前	午 後	夜 間
前 日	8月7日(木)	スタッフ入場 設営・準備作業	スタッフ入場・設営 準備作業		
第1日	8月8日(金)	参加者入場・設営 開会式	準備作業	参加者入場・設営	開会式
第2日	8月9日(土)	プログラム 大集会	プログラム	プログラム	大集会
第3日	8月10日(日)	信仰奨励 閉会式	信仰奨励 (サンクスセレモニー)	プログラム	閉会式
第4日	8月11日(月)	撤営・参加者退場	撤営・参加者退場		

※期間中の参加隊の交流会や小営火等は、積極的に行われることを期待する。

第5章 会場の地理的条件

1. 会場

広島県神石郡神石高原町 「神石高原ティアガルテン」

北緯 34 度 74 分 41 秒・東経 133 度 31 分 87 秒 海拔 700 ㍎

2. 地勢・面積

中国山地が広島県東部で南に張り出した高原地形の中に位置しており、標高は400～500メートルとなっている。主要な山岳は、北部に大行山、小行山、須子山、猪辻山、中央部に星居山、権現山、竜王山、仙養山、西部に龍王山、東部に米見山、日野山などがある。

水系は、帝釈川、成羽川など大半が一級河川高梁川水系に属し、三和地区南部の一部が同芦田川水系に、神石地区西部の一部が同江の川水系に属している。

3. 気候

神石高原町の平均気温は、油木観測所において11.9℃（平成28年（2016）年数値）となっており、広島地方気象台（広島市）の観測地17.2℃より5.3℃低くなっている。また、最高気温32.8℃、最低気温-10.1℃で、夏と冬の気温の差が大きくなっている。

年間降水量は、油木観測所においては、1,572mmであり、広島地方気象台（広島市）の観測地2,124mmより552mm少なくなっている。

天竺キャンプ場実測データ 2024年8月10日～12日 全日快晴

日付	2024/8/10			2024/8/11			2024/8/12	
時刻	13:00	16:00	20:00	7:00	13:00	20:00	5:00	8:00
気温	30.1	36.5	20.2	31.0	33.9	22.4	19.2	28.2
WBGT	27.0	27.5	20.4	25.4	27.0	20.7	18.4	23.8
湿度	50.5%	40.4%	87.5%	85.3%	43.2%	85.2%	90.0%	51.9%

全日：快晴

4. 交通アクセス

福山市の中心地 JR福山駅から約38km、山陽自動車道の福山東インターから約36km、いずれからも国道182号線を経由して車で1時間程度です。なお、中国自動車道の東城インターから約27km、車で約30分である。

広島市の中心地から一般道を利用した場合は約114km、車で約2時間40分です。山陽自動車道を利用すれば約137km、車で約2時間10分である。

第6章 参加者

1. 参加者

本大会は加盟員のボーイスカウトおよびベンチャースカウトを参加の主体とし、参加にあたっては、活動を支援する成人指導者ととも加盟登録の団・隊により参加隊・班を編成する。

人数が少ない団・隊においては、近隣の団・隊と混成の参加隊を編成することができる。

本大会は、成人の大会スタッフにより運営される。

2. 参加人員

19NSJプレ大会として、次の参加者をもって500人規模で開催する。

参加の区分	内 訳	人 数
参加隊	40人編成 計11隊	440人
	広島県連盟 6隊	
	岡山、山口県、愛媛県連盟各1隊 3隊	
	鳥取・島根連盟、徳島・香川連盟混成で各1隊 2隊	
	(1)ボーイスカウトおよびベンチャースカウト 385人	
(2)上記引率指導者 (各隊5名を想定) 55人		
大会運営スタッフ	指導者、RS、保護者、一般成人等	60人
合 計		500人

3. 来訪者・来賓

参加者以外に会場に訪れる見学者、および広島県連盟が招待する来賓等については、別に定める。

第7章 加盟員の参加

1. 参加人員の割当

参加人員の割当は次のとおりとし、割り当てられた人数確保に努める。

(1) 参加隊

参加隊は、2025年度加盟登録（2025年4月1日時点）がなされているボーイスカウト部門およびベンチャースカウト部門のスカウトとする。

(2) 大会運営スタッフ

大会運営スタッフの人数は、必要に応じて各県連盟・地区調整のうえ確保に努める。

2. 参加資格

参加するスカウトおよび指導者は、2025年度の加盟登録を有し、2頁の日程表に示す8月8日から8月11日までの3泊4日間のキャンプ生活に十分耐えうる健康とキャンプ技能を有するよう各団が責任をもって事前に訓練する。

(1) ボーイスカウト（BS）

ボーイスカウトで、上記の参加資格を有すると所属隊長が認めたもの。

(2) ベンチャースカウト（VS）

- ① ベンチャースカウトで、上記の参加資格を有すると所属隊長が認めたもの。
- ② 参加隊指導者の指導のもと、隊の運営に協力し、ボーイスカウトのプログラム参加および生活面での支援を行うことができること。

特に上級班長については、ベンチャースカウトの中から、指導力を有する者であり、班長・次長として6カ月以上の経験を有することが望ましい。

(3) 参加隊の指導者

隊指導者として、教育規定に定められた役務に応じて必要な資格を有するか、県連盟がこれと同等の資質と経験を有すると認めた者。参加スカウトに女子が含まれる場合は、指導者のうち、少なくとも1人は女性とする。

① 隊長

20歳以上で、隊指導者基礎訓練課程（ウッドバッジ研修所）のボーイスカウトまたはベンチャースカウト課程を履修した者。ただし、25歳以上が望ましい。

② 副長

20歳以上で、導入訓練課程（ボーイスカウト講習会）を修了した者。ただし、隊指導者基礎訓練課程の修了者が望ましい。

③ 副長補

18歳以上で、導入訓練課程を修了した者が望ましい。

(4) 大会運営スタッフ

- ① 各県連盟役員、事務局職員、各地区指導者、ローバースカウト、スカウトクラブ会員等
- ② 県連盟が要請する各分野における専門家（外部インストラクター・協力者等）。

3. 隊・班の編成

小規模人数の団においては、近隣の団と混成の隊を編成し、複数班での活動を体験できる機会とする。

なお、島根・鳥取連盟並びに徳島・香川連盟については、それぞれ2県連盟で1ヶ隊を編成する。

(1) 参加隊の編成

各団では教育規定に基づく隊編成により、ボーイ隊とベンチャー隊の合同で参加隊を編成する。隊指導者は、隊長と副長の2人を最低人数として、必要に応じて副長・副長補を任命する。プログラムへの運営支援を考慮して、隊指導者の人数確保に努める。

(2) 班の編成

班の編成は、各ボーイ隊での普段の班編成を尊重する。

ベンチャースカウトはボーイスカウトと別の班を編成する。

(3) ベンチャースカウトの参加

ベンチャースカウトは、隊指導者の指導のもと、参加隊の運営に協力し、ボーイスカウトのプログラム活動やキャンプ生活を支援することで、自ら隊活動の楽しさを体感しながら後輩のボーイスカウトに範を示し、彼らの上進意欲に繋げる。

また、ベンチャースカウトは、ボーイスカウトと同様にプログラム活動に参加するとともに、大会運営のための奉仕活動にも取り組みながら、多くのスカウト仲間と出会い、隊活動の楽しさやスカウト運動の広がりを体感させる。

(4) 混成隊の編成

- ① 参加者の少ない隊は、近隣同士の団・隊で協議のうえ、混成隊を編成することができる。
- ② 混成隊を編成する場合も、各団・隊から指導者が引率し、普段の班編成を尊重する。
- ③ 今大会では、40人を基本とする。

4. 参加日程

参加者は、2頁の日程表に示す入場日から退場日までの全日程に参加することを原則とする。

第8章 参加に要する経費

1. 大会参加費

参加者1人あたりの参加費は20,000円とし、加盟員は予納金と残額を分割して納入する。

(1) 参加者の予納金 (2025年1月末日までに広島県連盟に納入する)

参加者は1人あたり10,000円を予納金として、参加予定申し込みと同時に広島県連盟に納入する。なお、予納金は、他の参加者の予納金として振り替えることはできるが、払い戻しはしない。

(2) 参加費の残額 (2025年6月末日までに広島県連盟に納入する)

参加者は参加費の残額1人あたり10,000円を、参加確定申し込みと同時に広島県連盟に納入する。なお、参加確定申し込み時に納入する参加費は、他の参加者の参加費に振り替えることはできるが、納入した参加費の払い戻しはしない。

2. 経費の内訳

参加費は、大会の準備および開催に要する経費に充てる。

(1) 諸準備から報告書作成までの経費

(2) 8月8日(金)夕食から8月11日(月)朝食分までの8食分の食材費

※大会運営スタッフは、8月8日(金)昼食から8月11日(月)昼食までの10食分

(3) 炊事用等の燃料費

(4) 配付資料、参加章等の費用

(5) 会場の使用料、設備費、プログラム運営費、およびその他運営費

(6) 会期中の救護衛生費

(7) 加盟員以外の参加者の傷害保険料(必要であれば)

(8) その他

第9章 参加の申し込み

1. 参加予定申し込み

(1) 各団の手続き

各団は参加予定申込書により、参加隊と大会運営スタッフの参加希望者を取りまとめ、予納金を添えて、2025年1月末日までに広島県連盟に提出する。

2. 参加確定申し込み

(1) 参加者の手続き

各団は、参加確定申込書に必要事項を記入し、参加費の残額を添えて、2025年6月末日までに広島県連盟に提出する。

(2) 事前送付

広島県連盟事務局は、確定申込書を受領後、参加章等その他必要な物品書類を送付する。

〈準備日程〉

時期		県連盟の準備・連絡	地区・団の準備
令和6年 (2024年)	10月	基本実施要領の公表	
	11月	第1回大会運営連絡調整会議 広島県連盟以外は各県連盟1~2名 広島県連盟 正副委員長、部長、班長、事務局 (以降必要に応じ開催)	団内・保護者等に案内
	12月		団内で指導者とスカウトの参加希望を調査 地区・近隣の団との混成を調整
令和7年 (2025年)	1月	参加予定申し込み 広島県連盟締め切り(1月末日)	派遣隊の輸送計画・調整
	4月	第1回隊長会議 (以降必要に応じ開催)	大会参加に向けた隊訓練
	6月	参加確定申し込み 広島県連盟締め切り(6月末日)	
	7月	資料等の事前送付	
	8月	大会開催	大会参加

第10章 活動と日程

1. 19NSJプレ大会活動

活動は、大会期間を中心にその前後のすべての活動を含む、一連のまとまりあるプログラムである。それには、参加の動機付、準備訓練、大会期間中のキャンプ生活、大会プログラムへの参加、参加者同士の交流、帰宅後の評価と報告までのすべてが含まれている。

大会のプログラムは、すべての参加者の成長を助けるよう身体的、精神的、知的、情緒的な発達と社会性を育むことを目標に、それぞれバランス良く配分して提供する。

- 進級課目と関連させて、進級の目標が持てるプログラム
- ボーイスカウトおよびベンチャースカウト部門の活動の特色を発揮できるプログラム
- 野外活動を基本に、体験活動やダイナミックなプログラム
- 開催地の特色や周囲の環境を活かした、魅力あるプログラム

大会プログラムの運営と実施については、次の点に留意して構築する。

- 魅力的な活動を安全な環境のもとで実施する。
- 開催地の自然環境を活かしながら、大会による影響を最小限に止めた設備とする。
- 廃棄物の発生を最小限にするとともに、資源や特に水の節約、排水処理に配慮する。

2. プログラムの区分

(1) プログラム

隊サイトでの野営生活の実践や展開、各種プログラムに参加する。プログラムの詳細、区分等は別に定めるが、次のものを予定している。

① 競技的プログラム

進級課目と関連させた班や個人の対抗競技により、一つ上の進級を目指すとともに、班のチームワークを高める。

② チャレンジプログラム

会場の広さや参加人数を体験できる大会の規模を活用したプログラムで、スカウトのチャレンジ精神を高揚させる。

③ 交流プログラム

隊や住んでいる、隊や班同士の交流を促す。

(2) 全体行事

① 開会式

参加者が大会の開会を祝い、本大会の趣旨を確認する。

② 大集会

参加者同士がスカウト運動を体感し、団結する。

③ 信仰・奉仕活動

信仰奨励プログラムへの参加や隊・班におけるスカウトOWN・サービスを通じて、「ち
かい」と「おきて」の実践や平和や恵みについて考え、スカウトとして行動を起こす。

④ 閉会式

大会会場で過ごした時間を振り返り、大会に関わる人・物・環境について「感謝の心を持
つ」とともに、大会で出会った仲間との再会を約束するなど、大会で学んだことへの実践を
誓う。

3. 日程

プログラム実施日については、2頁の日程表のとおりとし、実施時間については、次の基本日課
の午前・午後・夜間の活動とする。

〈基本日課〉

起床	6 : 00	夕食	18 : 00
朝食	7 : 00	国旗降納	18 : 30
国旗掲揚	8 : 30	夜間の活動	19 : 00 ~ 20 : 30
午前の活動	9 : 00 ~ 11 : 30		(開会式、大集会、閉会式)
昼食・休憩	11 : 30 ~ 13 : 30	消灯	22 : 00
午後の活動	13 : 30 ~ 16 : 00		

※ 隊長会議・指導者会議については、別に定める。

第 1 1 章 会場利用計画と参加者の生活

1. 会場利用計画の区分

(1) 生活エリア

参加隊の生活エリアは参加人数に応じて区分し、予定申し込み、確定申し込みの人数により調整する。

① 参加隊のキャンプ地

参加隊のキャンプ地は、1隊40人に対して約750㎡（約225坪）基準として割当てる。

② 生活設備

生活エリアには、参加者の生活に必要な給排水所、トイレなどがある。シャワー室については、会場内に1ヶ所設置される。なお、配給で出された物のごみの仕分け・処分方法については別に定めるが、それ以外のごみについては各自での処理をお願いする。

生活エリア内でのプロパンガスならびに発電機の使用は禁止する。

③ 広場

参加隊が利用できる占有広場は無いが、大会会場内には共用できる広場がある。

(2) アリーナ

開会式・閉会式等の全体行事を実施するアリーナを設ける。

(3) プログラムエリア

プログラムのテーマや区分に応じて、プログラムエリアを設ける。

(4) 大会本部エリア

大会本部の業務・運営に必要な事務所機能、会議所を備えた大会本部エリアを設ける。なお、大会運営スタッフ等の成人のための生活エリアは別に設ける。

(5) 駐車地域域

① 場内駐車場

指定駐車場を設ける。

② 一般利用者や地元住民とトラブルが生じないように注意する。

2. 食事（配給）

(1) 食料の配給

参加隊の食事は野外炊事とし、大会本部から食料の配給を行う（ただし、氷、米、調味料類は含まないため参加隊にて用意する事）。なお、氷（有料）については事前申し込みにより必要量を大会本部にて用意する。

食料の配給は、8月8日（金）夕食分から8月11日（月）朝食分までの8食分を配給する。

(2) 炊事用燃料の配給

炊事用の主たる燃料は薪とし、食料の配給に準じて次のとおり配給する。

① 材質・仕様

間伐材を使用した針葉樹

② 配給数量

各参加隊の必要に応じた数量を配給する（ただし節約に努めること）。

(3) スタッフの食事

大会運営スタッフは、本部食堂で給食を受ける。

給食および昼食の配給は、8月8日（金）昼食分から8月11日（月）昼食分までの10食分とする。

先発・後発のスタッフの食事については、別に定める。

(4) 標準献立

標準献立表は、別に示す。

(5) 給水

定められた場所で、節水に心がけて給水する。なお、給水場所での洗い物はできない。

3. 服装および携行品

(1) 服装

加盟員が、全体行事（開会式、大集会、信仰奨励、閉会式）に参加する際は、制服を着用する。制服には記章を正しく着用する。

日本連盟指定のポロシャツの場合はキャップを着用し、全体行事のみネッカチーフを着用すること。

生活や作業の際には、それに適した服装とし、プログラム参加時の服装・携行品については、別に示す。

(2) 携行品

① 参加隊の携行品

本大会の携行品およびキャンプ用装備は、快適なキャンプ生活を維持し、かつ楽しい大会活動が展開できるよう、簡素で、しかも精錬されたものを準備する。これらの装備品等は準備訓練で十分使い慣れておくこと。

- ・生活エリアは日影が少ないので、フライシート等の日除けが必要である。
- ・特に直火はできないので注意すること。
- ・参加隊のテントについては、サイトの広さを踏まえて、原則ソロテントは不可とする。

② 大会運営スタッフの携行品

大会運営スタッフは、生活に必要な個人装備品と宿泊用のテントを持参する。

第 12 章 輸 送

1. 輸送計画

参加隊と大会運営スタッフは輸送計画を立案し、調整を行う。

大会本部は、会場内で一度に停車・乗降できるバス等の車両台数に限りがあるため、到着・出発の時間帯を定め、各参加隊の輸送計画を踏まえ、参加隊の到着・出発時刻を調整する。

2. 集散移動に要する経費

参加者の居住地から会場までの集散移動に要する経費は、すべて参加隊の負担とする。

3. キャンプ装備・備品等の輸送

参加隊、大会運営スタッフの装備・備品・個人携行品は、参加者が各自で携行することを原則とする。

4. 個人の車両

会期中、会場内における個人の車両の使用は認めない。

5. 会場内の交通制限

会期中、会場内を通行できる車両は、大会本部、警察、消防、関係業者等の大会業務に必要な車両に限定する。必要な車両には、許可証を発行する。

6. 駐車場について

駐車許可証を発行し、駐車場所は大会本部で指定する。

第13章 入場・退場

1. 参加隊の集散

(1) 入場

参加隊は、8月8日（金）の朝から夕刻までに会場に到着し、8日（金）の夜間に実施する開会式までに設営を完了する。

(2) 退場

参加隊は、8月11日（月・祝）の朝から夕刻までに会場を出発する。午前中の出発は、遠方の参加隊を優先する。

(3) 手続き

入場・退場に関する手続きは、別に示す。

2. 大会運営スタッフの集散

(1) 入場・退場

大会運営スタッフの入場は、8月7日（木）の朝から夕刻までに会場に到着し、夕食までに設営を完了する。

大会運営スタッフの退場は、参加隊の退場完了後とし、8月11日（月）の朝から夕刻までを予定する。入場・退場の手続き、駐車場の利用等は別に示す。

(2) 先発・後発スタッフ

事前準備から携わる大会運営スタッフ、到着の受け入れや退場等に必要なスタッフは、予め入場・退場日時を調整しておく。細部については別に示す。

3. 見学者の取扱い

参加者以外に会場に訪れる見学者、および広島県連盟が招待する来賓等については、別に定める。

第14章 安全管理と救護衛生

1. 安全管理・事故防止

大会の参加者は、快適なキャンプ生活を過ごすとともに、大会を心に残る思い出とするために、事故発生の防止に努めなければならない。

特に参加隊において指導者は、キャンプ生活・プログラム活動をとおして、安全指導、安全管理について常に万全の配慮をしなければならない。

参加スカウトは、ほんの少しの気のゆるみから大事故につながる恐れがあることを忘れず、安全の三原則を厳守しなければならない。

〈安全の三原則〉

自分の安全は自分で守る

ルールを守る

安全を最優先にする



2. セーフ・フロム・ハーム

大会に参加するすべての指導者は、日本連盟のセーフ・フロム・ハームのガイドラインを遵守して、安全で安心できる活動を展開する。

参加者が期間中の悩みなどを相談できる相談窓口（メール含む）を設置する。

3. 健康管理・個人衛生

大会参加にあたり参加者は健康調査票（食物アレルギー調査を含む・参加隊および大会本部で保管）を提出し、各指導者は参加者の健康管理と保健衛生に十分留意する。

参加者は、各指導者の指導のもとに、健康管理と保健衛生に十分留意する。また、晴れた日中には真夏日になることが予想されるので、熱中症や食中毒予防への備えを十分にすることが必要である。特に熱中症の「暑さ指数WBGT」が基準を超えた場合は、大会本部の指示で活動を制限する。

基本的な感染対策（手洗い・消毒・うがい等）に努めるとともに、医療機関との連携を図り、途中退場についても事前に十分な保護者への説明を行っておく。

4. 救護所

会場内の参加者の健康管理と傷病に対して万全を期すため、可能な限りの応急処置ができる救護所を設置する。

また、外部の医療機関との連携をはかり、傷病の度合いにより搬送、受診ができるように手配を行う。

※ 地震・暴風雨等による緊急避難指示や方法等については別に定める。
気象情報の収集に努め安全な活動ができるよう留意する。

5. その他

会場内の喫煙は指定された場所以外は禁止とする。また、飲酒は厳禁とする。

第15章 大会の中止について

大地震の発生や感染症の拡大など、大会開催または大会の継続が適当でないと判断される場合は、大会を中止することがある。なお、詳細については別途定める。

第16章 大会組織と運営

1. 準備・運営の組織

19NSJプレ大会の開催準備にあたっては、広島県連盟の「19NSJプレ大会実行委員会」および中国・四国ブロック各県連盟間の「大会運営連絡調整会議」により、大会運営に関わる諸準備を進める。なお、大会運営にあたっては、中国・四国ブロック各県連盟に要請する大会運営スタッフにより大会本部を組織し、参加隊とも連携を図りながら業務を進める。

2. 参加隊指導者の役割

参加隊の指導者は、所属する地区と連携しながら参加申込みや準備訓練、人員や備品等の輸送など参加に関する準備を進め、大会に関する情報を参加者とその保護者に提供する。

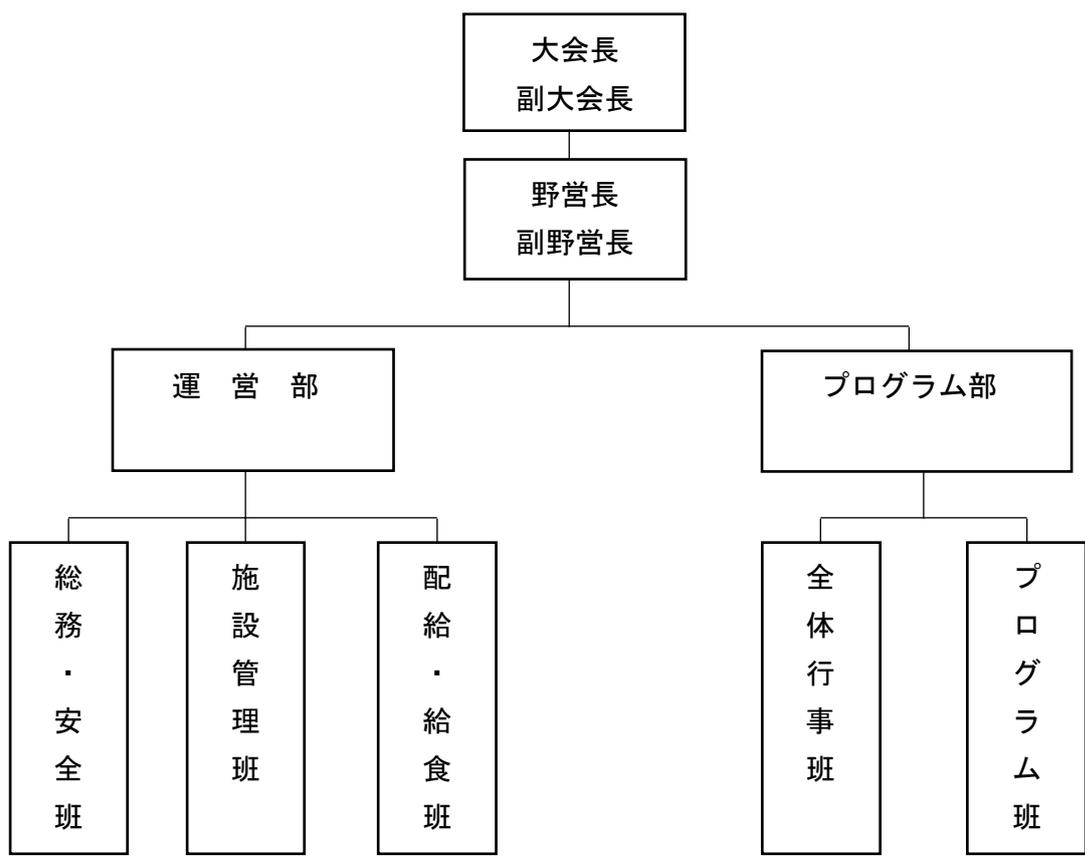
また大会期間中は、参加スカウトの指導・管理と併せて、キャンプスタッフの一員として、大会本部および参加隊指導者と協力して、参加者の健康と安全に十分留意した快適なキャンプ生活と大会プログラムの円滑な実施のために必要な役割を担う。

3. 大会本部各部の所掌業務

	班名	所掌業務内容
運営部	総務・安全班	○各班との連絡調整に関すること ○派遣隊との連絡調整に関すること
	難波班長	○実行委員会の会議等の運営に関すること ○参加者の申込・受付に関すること ○大会の事務（予算・決算含む）に関すること ○大会記念品に関すること ○参加者の救護・安全管理に関すること ○大会の危機管理に関すること ○セーフ・フロム・ハームに関すること ○中国・四国ブロックとの連絡調整に関すること ○広報に関すること（ローバース兼務） ○避難所に関すること
山城部長		

	施設管理班 山城班長	<ul style="list-style-type: none"> ○会場の利用（サイト割り含む）に関すること ○施設・設備の管理（シャワー、給水・排水、トイレ、かまど等）に関すること ○排水・ごみ処理に関すること ○輸送・駐車場に関すること ○避難所に関すること
	配給給食班 田中班長	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者の食料・氷の調達・配分に関すること ○献立表の作成に関すること ○炊事用燃料（薪）の調達・配分に関すること ○本部用給食に関すること
プログラム部 岩淵部長	全体行事班 山口班長	<ul style="list-style-type: none"> ○全体行事（開・閉会式、大集会）の計画・実施に関すること ○信仰奨励に関すること ○平和教育に関すること ○国旗儀礼の実施に関すること ○全体行事实施に伴う一般利用者との調整に関すること ○来賓に関し、総務部と調整すること
	プログラム班 岩淵班長	<ul style="list-style-type: none"> ○大会の基本日程に関すること ○会場内（会場外含む）プログラムの計画・実施に関すること ○プログラム実施に伴う一般利用者との調整に関すること

4. 大会本部組織図



第19回日本スカウトジャンボリープレ大会

本大会の開催に向けて、次の留意事項を大会参加者や関係者へ広く周知していきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 環境に配慮した行動

会場の神石高原ティアガルテンは、豊かな自然に囲まれています。この自然環境へ悪い影響を与えないように、大会運営はもとより、大会参加者についても、環境に配慮した行動を心がけ、環境への負荷を少なくした大会とします。

2. 個人情報と写真・映像の取り扱い

大会の参加申し込みなどによって得た個人情報および健康状態等は、参加者管理のための参加者名簿・参加者データを作成し、大会運営に使用します。また、参加に関する情報提供および運営業務のために、外部委託先や協力団体等に個人情報を提供する場合には、用途と使用期限を限定します。

個人情報の保全・安全管理については、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱い、大会業務終了後には速やかに破棄します。

大会の記録用として撮影した画像、映像はすべてボーイスカウト広島県連盟に帰属することになります。

参加者の写真や映像は、記録映像、ホームページ、報告書等の大会の記録に使用する他、各種パンフレット等のボーイスカウト運動普及・振興のために使用することがあります。

使用に際しては、できる限り、個人の特定ができないように配慮します。参加者の個人情報の収集・利用・写真・映像の使用については、参加申し込みをもって承諾を得たものとし、見学者や協力者等もこれに準拠します。

3. 関係者への連絡

開催地の自治体、協力機関および周辺の住民に対して、大会に関する連絡を行う場合は、必ず広島県連盟事務局を経由しなければなりません。

4. 事前視察

会場予定地は、法人等で所有・管理する公有地のため、事前の視察で用地に立ち入る場合には、予め管理者へ連絡し承諾を得る必要があります。

視察を行う際には、広島県連盟事務局へ連絡しなければなりません。

5. 大会シンボルマーク・商標の取り扱い

広島県連盟の許可なしに、本大会のシンボルマークや商標を付した製品を製作・販売することはできません。